

平成2～24年度の気象の状況（参考）

解析期間の気象の状況を確認した。優先解析地域の気象官署（東京、熊谷、名古屋、大阪、福岡）の観測値について比較した。この結果を図1及び図2に示す。

全国的な気象の経年変化を把握するために、気温、日照時間、降水量について平年差（または比）の分布を整理した。春季の結果を図3及び図4、夏季の結果を図5及び図6に示す。

図1及び図2は、気象庁ホームページの気象統計情報より作成した。気温、日照時間、降水量について平年差（または比）の分布は、ホームページの日本の地域平均気候データの日本の気温・降水量・日照時間の平年との差の分布図（春季3～5月、夏季6～8月）を整理した。

春季については、平成10年の春季は全国的に気温が高く、平年差が大きかった。一方で、この都市の春季は降水量も多く、日射量も少なかった。平成12年以降では、平成14年、平成16年、平成20年、平成21年で気温が高かった。

夏季については、平成22年は全国的に気温が高く、特に北日本から関東にかけて差が大きかった。このほか、平成6年、平成12年、平成16年、平成23年についても平年よりも気温が高い傾向が見られた。

項目	経年変化図	備考
気温		日平均値の月平均値を平均
全天日射量		月平均値を平均 熊谷は観測がない。
降水量		月合計値を足し合わせた。
相対湿度		月の月平均値を平均

(注)

1. 気象庁(<http://www.data.jma.go.jp>)の月平均値(または月合計値)から作成した。
2. 3~5月について作成した。

図 1 春季の気象の経年変化

項目	経年変化図	備考
気温		日平均値の月平均値を平均
全天日射量		月平均値を平均 熊谷は観測がない。
降水量		月合計値を足し合わせた。
相対湿度		月の月平均値を平均

(注)

1. 気象庁(<http://www.data.jma.go.jp>)の月平均値(または月合計値)から作成した。
2. 6~8月について作成した。

図 2 夏季の気象の経年変化

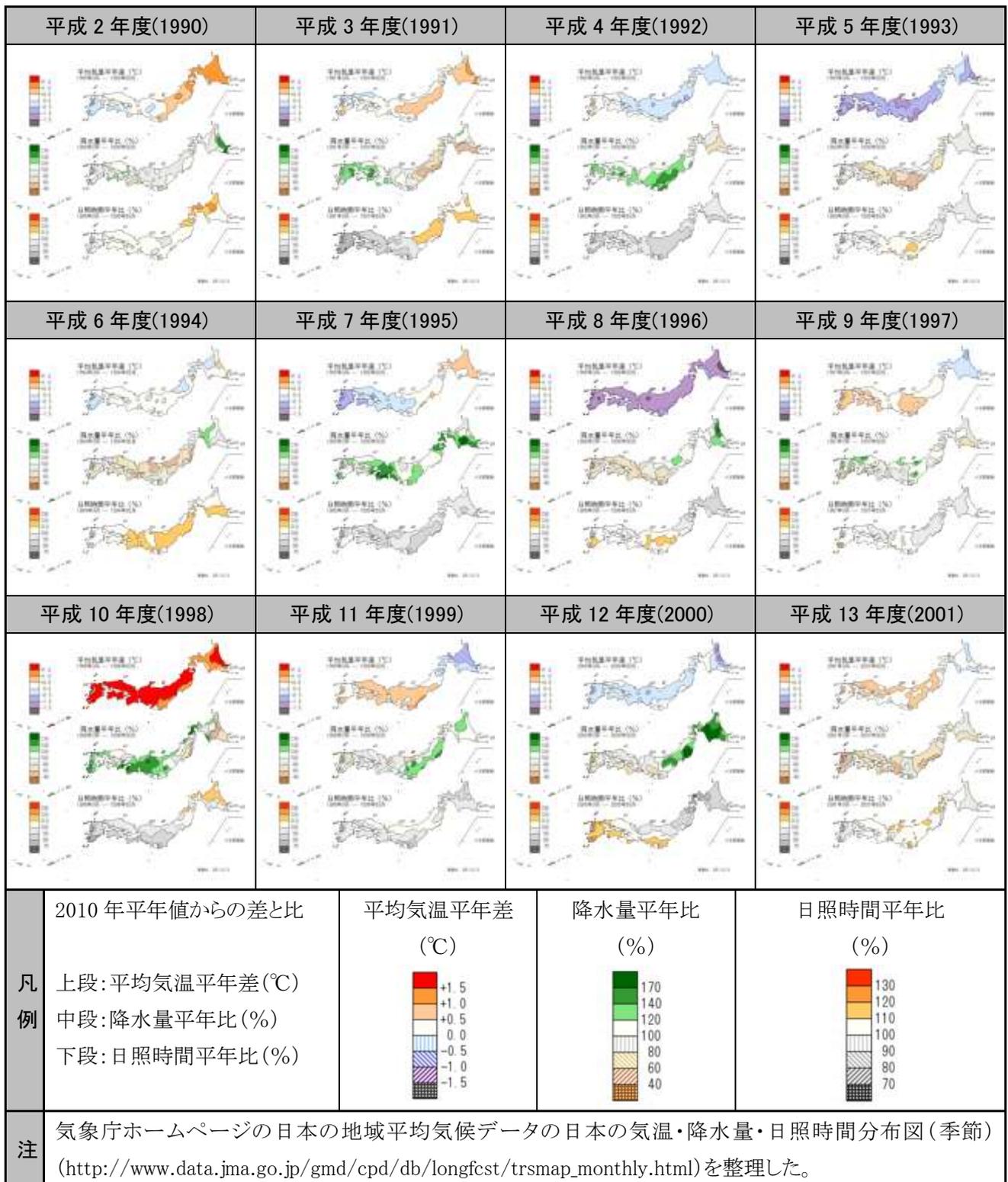


図 3 日本の気温・降水量・日照時間分布図(春季:3~5月)

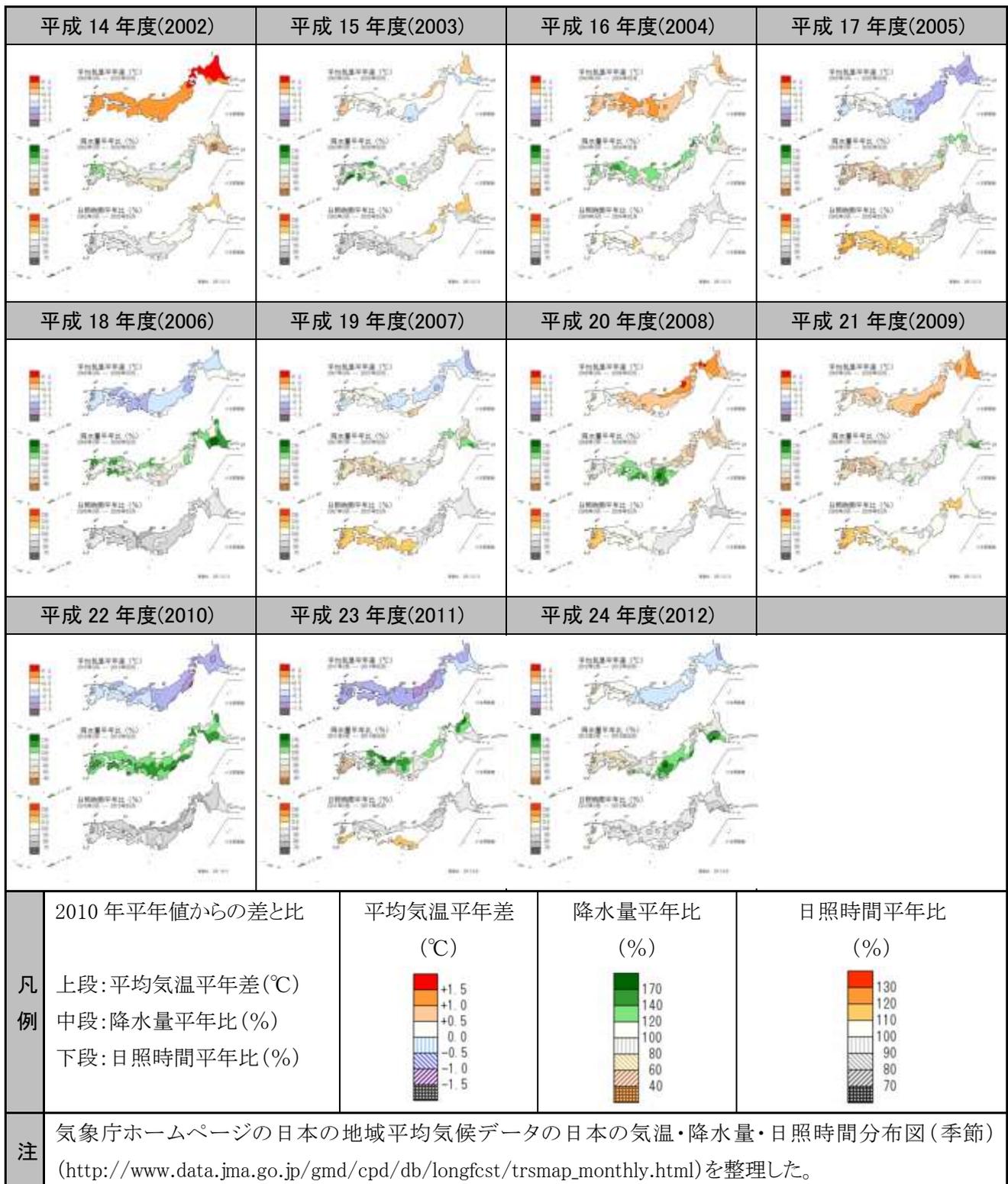


図 4 日本の気温・降水量・日照時間分布図(春季:3~5月)

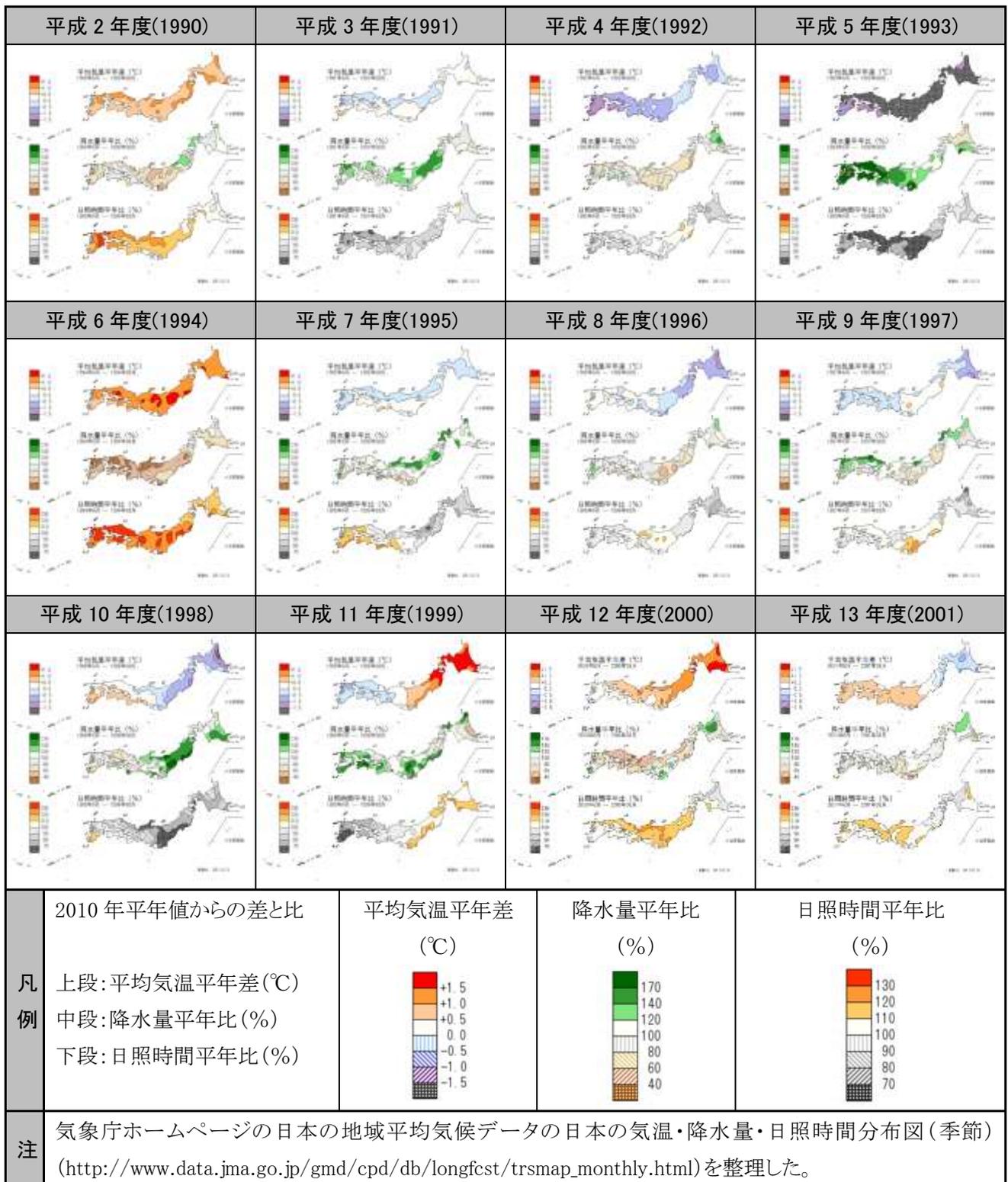


図 5 日本の気温・降水量・日照時間分布図(夏季:6~8月)

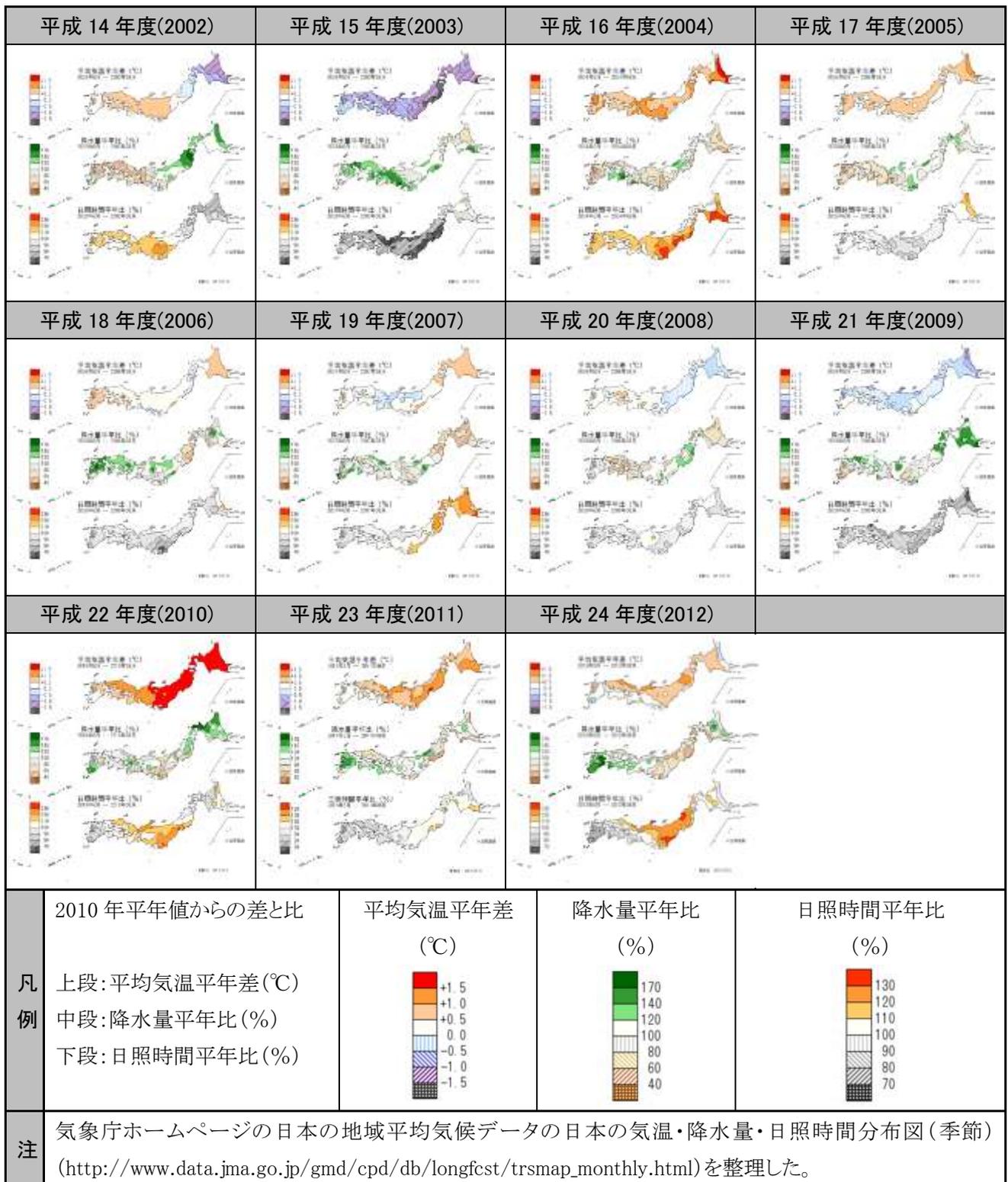


図 6 日本の気温・降水量・日照時間分布図(夏季:6~8月)